

公式記録

平成18年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

準決勝 【37】

主審
署名

山本 弘之

日時	2007年2月10日(土) 10:30 キックオフ			会場	アスパ五色メイングラウンド					
天候	晴れ	風	弱風	ピッチ	芝・クレー	状態	良好・不良・泥沼	試合形式	70分/延長分	PK戦有
審判	堀口 泰司	会場主任	太古 正人	記録	茨木 伸之 / 田坂 昌彦		観衆	200人		
主審	山本 弘之	副審1	佐野 知彦	副審2	進藤 勲		第4の審判員	大村 昭洋		

チーム名	kick off				0	前半	0	チーム名	kick off			
滝川第二高校				先	1	延前	延後	0	三田学園高校			
〇×								〇×				
PK戦								PK戦				

交代 No.	OUT時間	シュート				得点	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	得点	シュート				交代 No.
		延後	延前	後半	前半									前半	後半	延前	延後	
	分					浜畑 修大 2年	12	GK	GK	1	鈴木 敏之 2年						分	
	分					中西 隆裕 1年	24	DF	DF	④	宮脇 晶士 2年		1				分	
	分					小田 健太 2年	6	DF	DF	5	福田 篤士 2年						分	
	分					田中 大二郎 2年	3	DF	DF	6	溝畑 弦 2年						分	
	分			1		深谷 裕大 2年	4	DF	DF	13	大津 昌宏 1年						分	
	分			2	1	吉波 毅頭 2年	7	MF	MF	7	田畑 翔利 2年		1			68	分	
	分			1		大塚 尚毅 2年	15	MF	MF	14	石出 晃也 2年		1			67	分	
58	分					杉本 貴志 2年	13	MF	MF	16	川上 雄太郎 1年						68	分
63	分			1	1	湊 雄太郎 2年	25	MF	MF	18	中上 智貴 2年		1	1			分	
51	分				1	河本 駿 1年	23	FW	FW	9	杉原 正志 2年						分	
HT	分				1	倉内 周 2年	10	FW	FW	19	西良 幸真 2年		1				分	
	分					岡田 真慶 1年	1	GK	GK	12	辰家 宏太 2年						分	
13	分					記虎 勇人 2年	9	MF	DF	2	家山 昂 2年						7	分
	分					小澤 大地 2年	5	DF	DF	3	松井 翔士郎 1年							分
10	分				2	坂本 諒斗 2年	11	FW	DF	15	宮本 篤史 1年							分
	分					外島 拓也 2年	16	MF	MF	8	石尾 一真 2年							分
	分					坂東 康隆 2年	20	MF	MF	17	樋口 貴史 2年							分
25	分					松下 直樹 2年	2	DF	MF	24	渡部 一徳 1年						16	分
	分					新居 友作 2年	18	DF	FW	11	前 寛彰 2年						14	分
23	分				1	杉本 駿介 1年	22	FW	FW	25	田上 正典 1年							分

時間	警・退	No.	氏名	事由	梶 裕保				監督				福原 幸明				時間	警・退	No.	氏名	事由		
45	警告	15	大塚 尚毅	反スボ					チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計					分				
					12		8	4	シュート	3	3			6					分				
					10		7	3	GK	7	5			12					分				
					4		3	1	CK	0	1			1					分				
					14		6	8	直接FK	4	5			9					分				
					2		1	1	間接FK	1	1			2					分				
					2		1	1	(ワザ付)	1	1			2					分				
					0		0	0	PK	0	0			0					分				

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS											
	58	滝川第二	3	田中	1-0	右CK⑦○X⑩→③S											
	分				-												
	分				-												
	分				-												
	分				-												
	分				-												
	分				-												
	分				-												

戦評者 所属【 須磨友が丘高校 】 氏名【 尾崎 行雄 】

前半、両チームともパスミスが目立ち主導権を握れずにいた。三田はボールを奪った後のサポートが遅く2トップが孤立している場面が多かった。対して滝川第二は細かいパスを繋ぐが、ペナルティエリアへ進入できずミドルシュートで終わっていた。後半立ち上がり、前線から速いプレッシャーをかけるがサイドを有効に使いえず膠着状態になる。58分コーナーキックからミドルシュートのこぼれ球を③田中が押し込み1点を奪う。三田は⑩中上、⑨西良が時折ドリブルでチャンスをつくるが、滝川第二DFを崩すことができなかった。最後まで1点を守りきった滝川第二が競り勝った。